

湿原散歩

ハシドイの花の香りが漂うころとなり、釧路湿原に夏がやって来た。近くにある展望台には観光客が集い、中には額に汗をにじませながら登って来た人も目の前に広がる景観に一時暑さを忘れたかのように歓声を上げていた。湖面に浮かぶカヌーはまるで笹船のように、ゆっくりと川に向かって進んでいる。湖岸の浅瀬ではアオサギが群れ、食欲旺盛な雛に与える餌を盛んに探している姿が見られ、その雛も間もなく巣立ちの時期を迎えるようだ。人影が消え、日没迫るころ、青い水面の中にタンチョウの番が佇んでいた。やがて周りの林から野鳥の鳴き声が次々と聞こえて来た。



塘路フィールドノート【6/15～7/14】

【野鳥】

野鳥たちは現在子育ての真っ最中。この春生まれたヒナたちも徐々に大きくなり、巣立ちの時を迎えています。
※注意：湖畔歩道の入口近く(上図)でハシブトガラスが営巣しており、近くを通ると威嚇されることがあります



アオサギ(塘路湖)

エゾノミズタデの葉の上で、夕日を背にたたずんでいました



ニューナイスズメ(塘路湖畔)

しきりに地面をつついて獲物(昆虫の幼虫?)を捕らえたところ



アオジ(塘路湖畔)

雨上がりの夕暮れ時、樹上で元気にさえずっていました



マガモの親子(塘路湖)

母ガモ(左端)と幼鳥たち。通常子育てはしないはずのオス成鳥の姿も(右端)



コヨシキリ(コッタロ湿原)

湿原の野鳥の代表格。特徴的なさえずりが湿原に響き渡っていました



ハシブトガラス(塘路湖畔)

近くの巣で子育て真っ最中の番い。樹上でこちらの動きを監視中

【植物】

落ち着いた色調の白い花の季節から、色鮮やかな夏の花の季節に移り替わってきました。また、初夏に花を咲かせた植物は実を結んで、次世代に生命をつなぐ準備をしています。



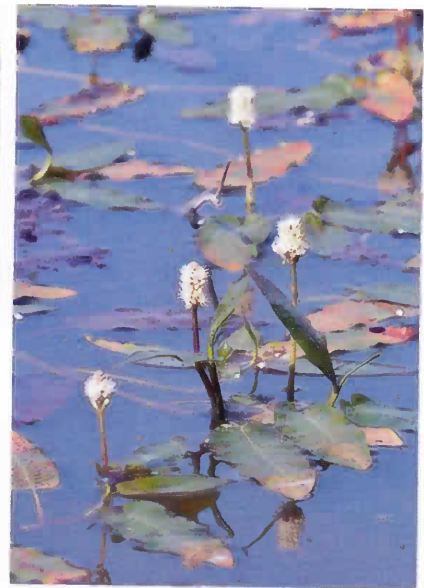
ホザキシモツケ (コッタロ湿原)

今一番旬の花。道道1060号沿いで鮮やかなピンク色の花をたくさん咲かせています



クサフジ (コッタロ湿原)

こちらも現在見ごろを迎えています。青紫色が印象的な花



エゾノミズタデ (塘路湖)

水面を覆うように茂る葉の上に、小さな白い花を咲かせていました。ヒシ(ベカンペ)と並んでこの時期の塘路湖を代表する水草です



カラフトイバラの果実 (コッタロ湿原)

まだ花を咲かせている個体も見られますが、こちらは一足先に実をつけていました



ヤマゲワの果実 (塘路湖畔)

蚕の食草としても知られるヤマゲワ。おいしそうな実をたくさんつけています

【昆虫】

塘路湖周辺ではヨツボシトンボが飛び交い、さらにチョウの種類も多くなってきました。一方で、アブやハチの活動も活発になってきています。散策の際は十分お気を付けてください。



エゾトンボ (コッタロ湿原)



シロオビヒメヒカゲ (塘路湖畔)



オバボタル (塘路湖畔)



㊦ 塘路湖畔にシマヘビ出現 ㊦

ある日、センターの窓から外を見ていると、芝生の上に何やら黒くて細長い一本の線が。よく見ると、真っ黒なうろこ状の背中に鋭い目つき、どうやらシマヘビの黒化型(通称カラスヘビ)のようでした。数日後、今度はセンター脇の新置き場で、とぐろを巻いているノーマルカラーのシマヘビを発見。鋭い目つきに一瞬ひるみましたが、シマヘビもこちらの存在に気付いて、薪の隙間へと消えていきました。

カエル・トカゲ・鳥類・ネズミ等多様な食性を持つシマヘビは、その土地の豊かさを表す指標として重要な生物の一つです。湖畔を闊歩するシマヘビは塘路湖の豊かな自然が維持されていることを証明してくれているのかもしれない。(個人的にはあまり頻繁に会いたくはないのですが…)



●土器作りを体験しました

8日、自然ふれあい行事「縄文土器作り講座」を開催しました。標茶町郷土館学芸員の坪岡始さんを講師に塘路地区で出土した土器を見ながら、当時の釧路湿原について説明してもらったあと、土器作りを始めました。はじめに粘土を円盤状に底の部分を作り、ひも状にしたものをその上に乗せながら輪積みして高くなりますが、中に空気が入ると焼いたときに膨張して破裂するので、注意して作業を進めることを教わりました。午後から模様付けの作業となり、木の枝、貝殻、木の実、綱紐などを使い、各自土器の表面に模様付けをしました。

作った土器は自然乾燥を経て、来月上旬に野焼きをして完成させます。

7月・8月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です

■バードカービング展

[日 時] 7月23日(日)～8月13日(日)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

※申し込み不要・入場無料

◎釧路湿原 自然と歴史を訪ねて

[日 時] 8月12日(土) 10時～12時

[定員・参加料] 10名・無料

[開催場所] サルボ展望台周辺

[集合場所] サルボ展望台駐車場

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで。

☆ホテルの週末

[日 時] 7月22日(土)・7月23日(日)

いずれも19時30分～21時

[定員・参加料] 定員なし・無料

☆盛夏の花を見に行こう

[日 時] 8月6日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 15名・無料

☆ザリガニウォッチング(ウチダザリガニ編)

[日 時] 8月13日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 15名・無料

☆申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで(0154-65-2323)

■夏期開館のお知らせ 7月19日～8月16日の期間は水曜日も開館します！

◆日出・日入時間 6/15(3:43,19:03). 6/30(3:46,19:06). 7/14(3:56,19:00)

～編集後記～

■気温も一気に上昇し、真夏日が10日連続、猛暑日が4日と(14日現在)、7月に10日続けて真夏日を記録するのは1997年以降20年ぶりとなりました。涼しい夏の北海道観光をイメージして訪れた方も驚いたことでしょう。道外と比べて湿度は低いかもしれませんが、フィールド散策の際には水、帽子、日傘などを用意して楽しい旅行をしてください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail:emc@hokkai.or.jp

開館時間:10:00～17:00

(11～3月:16:00まで)

休館日:毎週水曜日(7月19日～8月16日 夏期開館)、12月29日～1月3日 入館無料